

平成 27 年度環境省事業計画（案）

●エゾシカ個体数調整捕獲

達古武地域で実施した 2 カ年の試験捕獲及びテレメトリー調査の結果を踏まえて、個体数調整捕獲を実施する。候補地は次頁のとおり。

▶大型囲いわな

- 自然再生事業苗畑周辺に追加設置を検討
 - ・大型囲いわなで捕獲した首輪個体の大部分は苗畑周辺も利用。
 - ・麻酔銃で捕獲した個体は今年度の大型囲いわな周辺を利用しものが多い。
- カラマツ間伐が実施される場合は現在の場所も候補となる
 - ・今年度は間伐が実施されなかったため、林内のシカの密度が低かった可能性。
 - ・次年度間伐が実施されれば効率的な捕獲が可能？

▶小型囲いわな

- 湿原内での運用試験
 - ・湿原内での運用方法の技術開発のため、達古武湖から流出する河川沿い等での試験捕獲を検討。
- アクセスの困難な場所での運用試験
 - ・歩道沿線や林道沿いの間伐集材箇所周辺での実施を検討。

▶くくりわな

- 今年度実施した西の沢の上部、稜線付近での実施を検討。
 - ・大型囲いわなの捕獲影響の検証が課題。

●エゾシカ採食状況調査

平成 25 年度から継続調査している調査区において、引き続き以下の期間に各調査を実施する。

スゲ類の調査適期である 6 月中～下旬を追加。

▶6 月中～下旬（固定調査区）

- ・相観植生調査（10m×10m）
- ・採食状況調査（10m×10m）

▶8 月中旬（固定調査区）

- ・相観植生調査（10m×10m）
- ・詳細植生調査（2m×2m）
- ・採食状況調査（10m×10m）

▶11 月（固定調査区）

- ・採食状況調査（10m×10m）

▶2 月（シカ道ラインセンサス）

- ・採食状況調査（各 300m 以上×2m 幅）

● 個体数調整捕獲 候補地

